

老人と障害者の自立のための

39th 国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2012

会 期：2012（平成24）年9月26日(水)～28日(金)
会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）
出展社数：約540社・団体（日本482社・団体、海外58社）※見込み
開場時間：午前10時～午後5時
入 場 料：無料（登録制：当日または事前）
主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

【15か国・1地域から548社の出展が決定！昨年より38社増加】

国際福祉機器展 H.C.R. は、世界トップクラスの規模で開催します。介護・福祉機器の分野ではアジア最大、世界でもアメリカの Medtrade、ドイツの REHACARE に次ぐ規模の展示会です。

今年は、15か国・1地域から548社が出展し、高齢者・障害者が使いやすい食器・衣類から先端技術を積込んだ福祉車両や電動車いすなどまで約20,000点の機器が展示されます。出展社は昨年よりも38社増えました。

【開催内容】（予定）

①福祉機器約20,000点を総合展示

②国際シンポジウム

【1】「税と社会保障の改革で財政危機と高齢化に立ち向かう～デンマークの取り組みは日本に生かせるか～」(27日)を開催。

③H.C.R. セミナー [共通資料あり]

福祉職から一般、福祉利用者、家族を対象に、

【2】腰痛を予防する介護の方法・基本編 【3】福祉施設における感染症の知識と対応

【4】生活保護3兆円の衝撃 【5】有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等の現状と選び方

【6】社会福祉施設等における生きものの活用～動物愛護から生物多様性保全まで

『福祉施設で実践されている福祉サービスの「創意・工夫」の取り組み』

【7】①危機管理に対する取り組み 【8】②ケアの場面における創意・工夫

【9】③地域社会との関わりやセーフティネットづくりに向けた取り組み

をテーマとして連日開催。H.C.R.WEBサイト (<http://www.hcr.or.jp>) に詳細をUP。参加申込受付中。

④H.C.R. セミナー [プログラム資料を当日販売、配付]

【10】はじめての福祉機器選び方・使い方セミナー

【11】知っているとこんなに便利！IT機器の福祉的活用講座

【12】高齢者むけの手軽な日々の食事～市販の惣菜やレトルト食品もおいしくバランスアップ

⑤H.C.R. 特別企画

【13】ふくしの相談コーナー 【14】高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー～片手で使えるモノ展

【15】障害児のための「子ども広場」 【16】福祉機器開発最前線

【17】ふくしの防災・避難用品コーナー 【18】被災地応援コーナー

⑥出展社によるプレゼンテーション

その他にも、多彩なプログラムを実施予定。

福祉機器開発最前線のご案内 ～ 注目の新製品を集中展示・デモンストレーション～

高齢者・障害者の自立と介護を支援する福祉機器は、現在さまざまな場面で日常生活に浸透してきています。特にここ数年は、人間工学やセンサー技術の導入など、最新のテクノロジーを活用した福祉機器の研究・開発が盛んに進められ、高齢者・障害者の可能性を上げてきました。

今年も H.C.R.2012 特別企画では、展示とデモンストレーションによる解説を交えながら福祉機器開発の最前線を紹介していきます。

今回は、トヨタ自動車(株)が国内外の展示会を含めて初の発表となる『生活支援ロボット HSR (Human Support Robot)』の展示、デモンストレーションを行うほか、計 8 社から注目の新製品や最先端の研究・開発に関する情報が発表される予定です。

◇場所：東 6 ホール内「特設会場 C」

<出展企業・団体と展示・デモンストレーション予定の製品>

1. アイシン精機(株)、(株)今仙技術研究所、国立障害者リハビリテーションセンター研究所、独立行政法人産業技術総合研究所
片流れ検知・軽減走行技術を用いた安全で使い勝手の良い電動車いす
2. (株)オーエックスエンジニアリング
着脱が容易な電動ユニットを装備した電動手動兼用車いす (開発呼称：03E)
3. オットーボック・ジャパン(株)
ヒトの手が持つ滑らかな動きと、装着者の使いやすさを両立した、最先端の筋電義手ハンド「ミケランジェロハンド」
4. (有)さいとう工房
障がい変化対応ユニットモジュール型電動車いす「レル・シリーズ」
5. 千葉工業大学 中嶋研究室
段差や凸地形、溝などがあると車輪を脚のように持ち上げて不整地を移動できる「パーソナルモビリティビークル RT-Mover P type3」
6. トヨタ自動車(株)
生活支援ロボット HSR (Human Support Robot)
7. 日本精工(株)
障害物を回避しながら使用者を先導する「障害物回避先導ロボット NMR002」
8. (株)モリトー
運搬性に優れた組立・収納しやすい介護リフト「携帯リフト」 ※企業名は五十音順

H.C.R.2012 で展示される新製品のご案内 ～ 各企業ブースにも新製品が多数展示～

展示会場にも、各社の新製品が多数展示される予定です。その一部をご紹介します。

◆クイッキー-QXi [(株)アクセスインターナショナル/小間：4-01-04]

1 本のレンチで簡単に調整やメンテナンスができる新構造のモジュラー型車いすです。

◆ウルトラセーフステップ足継手 (ADR-AFO) [アドバンフィット(株)/小間：4-02-09]

エラストマーの働きで滑らかな体重移動を可能にしました。

◆車いすシステム「カロニックラシック」[(株)オフィス清水/小間：6-19-04]

車いすシートがそのまま車のシートに変身するシステムにより、座ったまま車の乗り降りが可能になります。

◆読み上げペン「サトシくん」シールセット [(株)コムフレンド/小間：5-10-10]

シールに任意の音声を録音し、ペンでタッチするとペン先にあるカメラがコードを認識して録音した音声を再生します。今までにないコミュニケーションツールです。

◆LED safty rail [株シンドウ工業/小間：3-19-02]

自由設計の“光る”補助手すり。消費電力、長寿命で屋内外を問わず使用できる LED を採用しています。

◆ベストセレクトバー「ユニット鋼板壁面手すり」[DIPPER ホクメイ株/小間：5-15-04]

鋼板入り壁面に対し特殊コーティングを施したマグネットの効果で後付けができる鋼板パネル専用手すりです。岩肌やナシ地壁、細かな柄の入ったパネルに対するタイプもあります。

◆抑速ブレーキ付歩行車 CONPAL [ナブテスコ株/小間：4-07-06]

急加速時や下り坂で自動的にブレーキが作動し、転倒を防止、安心して歩行できます。

◆コミュニケーションパートナーロボット PALRO (パルロ) [富士ソフト株/小間：2-10-15]

人と挨拶を交わしたり、新しいニュースや最新の天気を伝えたり、軽い運動を伴うゲームやダンス、脳を活性化するクイズを出題したりします。厚生労働省が定める生活機能低下予防項目に沿った介護予防支援を行います。

◆横移動車いす サイドウェイ [フランスベッド株/小間：1-01-01]

乗ったまま横にスライド可能なので、ベッドやトイレでの移動サポートの負担が軽減されます。

◆マイチルト・コンパクト・3D MH・CR3D [株松永製作所/小間：4-01-05]

全幅 53cm で折りたたみ可能な超コンパクトのティルト&リクライニング車いすです。

◆エリーゼ・ロス [株メトス/小間：2-08-07]

“固定しない”という新しい発想から生まれた移動式スマートリフトバス（寝浴用介護浴槽）です。

※企業名の五十音順

見どころが満載！ ～ 国際シンポジウム・H.C.R.セミナー・特別企画～

1. 国際シンポジウムは事前申込受付が満席に

1 頁目でご紹介したとおり、今年度の国際シンポジウムは、EU の加盟国であり、高い税負担によって高福祉社会を実現しているといわれるデンマークの国税省の行政関係者で、福祉行政にも通じたオーレ・ケアー氏を招き、「税と社会保障の改革で財政危機と高齢化に立ち向かう～デンマークの取り組みは日本に生かせるか～」をテーマにデンマークにおける社会保障政策に対する考え方、現状と課題などを報告・説明いただき、それを踏まえてわが国の今後の社会保障制度と財政再建のあり方を考察します。

今日のわが国の情勢のなかで興味・関心の高いテーマであったこともあってか、8 月末から開始した事前の参加申込受付は約 2 週間で満席となり、これから参加を希望される方については、当日（9 月 27 日）の 12：30 分からキャンセルによる空席分のみの申込みを受け付けることとなります。

- 開催日時：2012 年 9 月 27 日(木) 13:00～16:00
- 会場：東京ビッグサイト・会議棟 6 階「605-608 会議室」
- 講師：Ole Kjaer (オレ・ケアー) 氏 (デンマーク国税省・税制度検討推進役、元デンマーク国税・関税管理局局長)
- チューター：近藤 純五郎氏 (元厚生労働事務次官、弁護士)
- 参加費：1,000 円

2. H.C.R.セミナーでは生活保護問題もテーマに

わが国の保健福祉・介護・医療分野におけるさまざまな課題を取りあげ、福祉・介護職の資質向上と情報提供のため開催する「H.C.R.セミナー」(1 頁参照) では、今年度は初めて生活保護問題にもテーマの領域を広げます。

わが国の生活保護受給者数は、2012 年 3 月末には 210 万人を突破して過去最多となり、2012 年度の生活保護の支給額は 3.7 兆円を超える見通しです。また、若年化、高齢化による受給増の一方で、不正受給や貧困ビジネスの拡大などの問題が露わになり、国は社会保障審議会の検討会などで生活困窮者の対応の検討に入っています。

そこで、NHK スペシャル「生活保護 3 兆円の衝撃」取材班チーフプロデューサーの前田浩一氏を講師に招き、「生活保護 3 兆円の衝撃」をテーマに、取材や番組制作を通じて見聞きした現場の実態から分かってきたこと

や、制度的な矛盾や課題、この課題に対して今後どのような向き合い方が考えられるのかなどについて講義をいただき、この問題に対する認識の喚起と対応を考察する場として開催します。

○会場 会議棟 6F 605～608 会議室 ○日時 9月26日(水) 13:30～15:30

○講師 前田浩一 氏 NHK スペシャル「生活保護 3兆円の衝撃」取材班 チーフプロデューサー

また、9月28日に終日かけて行う『福祉施設で実践されている福祉サービスの「創意・工夫」の取り組み』では、福祉施設の現場で取り組まれている「創意・工夫」のある実践事例を、①危機管理に対する取り組み、②ケアの場面における創意・工夫 ③地域社会との関わりやセーフティネットづくりに向けた取り組みの3つのプログラムに分類し、計13事例もの発表を行います。

3. H.C.R.特別企画では、引き続き「被災地支援」や「防災」もテーマに

1頁目でご紹介したとおり、H.C.R.特別企画も、さらに内容の充実をはかり開催します。なかでも、東日本大震災での被災を受けて昨年度から開始した「ふくしの防災・避難用品コーナー」をはじめ、「被災地支援」や「防災」をテーマとしたプログラムをより多角的な内容で継続して実施します。

(1) ふくしの防災・避難用品コーナー

昨年の東日本大震災や異常気象による被害で多くの福祉施設が被害を受けたことを踏まえ、今後の災害に備えるため、福祉施設向けの防災・避難用品や被災地で役立つ福祉機器を昨年度に引き続き集中展示いたします。

本年度は、発災から概ね2日間、避難所など安全な場所に身柄を確保されるまでに必要な製品に展示テーマを絞り込み、

- ①「発災」から「一時避難」(初期対応、移動、コミュニケーションなど)に必要な製品
- ②「一時避難・避難生活関連」(トイレ、マット・毛布・シート、水、食事、電源、照明、暖房、住居など)の製品

の2つのスペースに分け、臨場感のある展示とデモンストレーションを行います。(東6ホール内「特設会場C」)

(2) 被災地応援コーナー

昨年に引き続き、東日本大震災で特に被害の大きかった東北3県(岩手県、宮城県、福島県)のセルフ(障害者授産施設)の製品を販売いたします。(東6ホール内「特設会場C」)

このほか、展示会場や出展社プレゼンテーションでも、「被災地支援」のプログラムがあります。

(3) 福祉人材センター

東日本最震災で特に被害が甚大だった岩手、宮城、福島の3県では、被災を期に急激に福祉・介護に従事する人材が不足しました。そして、今もなおその状況は、十分には解消し切れずにあります。今回の出展社プレゼンテーションでは、「東日本大震災被災3県における福祉・介護人材確保」をテーマに、そうした3県の福祉・介護人材確保の状況をお伝えします。

もちろん、展示ブース(小間:2-15-13)では、福祉の仕事の全般に関わる情報提供や相談などにも応じます。福祉の仕事に志をお持ちの方の、多数の来場をお待ちしています。

H.C.R. 2012 事務局
(財)保健福祉広報協会
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798
[http : //www.hcr.or.jp](http://www.hcr.or.jp)